



＼地域とともに自分も成長できるシゴト／  
**久米南町地域おこし協力隊になりませんか？**



# 協力隊の活動ロードマップ

地域おこし協力隊の活動分野はそれぞれ。

でも、3年間の大まかな活動方針はきまっています。



3年目

地域の資源を活かしながら、  
定着につながることに取り組む

2年目

自分のスキル・やりたいことに挑戦  
自分で地域への愛着を育てる

1年目

地域内の人々に自分のことを認知してもらう

1

年目

に何をすればいいのかHow & To

## 『地域内の人々に自分のことを認知してもらおう』



### ○ 地域のことを知る & 自分のことを知ってもらう

- 着任してまもなく、地域の方はあなたのことを知りません。
- 地域の方は、あなたのスキルや能力よりも人柄を知りたいと思っています。気負わず・素直に自身のことを話すことがポイントです。



### ○ 地域の行事・集会に参加する

- 自治会の総会や地域の夏祭りなどで大丈夫です。身近な行事への参加をきっかけに、まずは地域の方との接点を作りましょう。
- 参加するだけでなく、開催側のお手伝いをすることで協働の経験にもなります。

## ○ここがポイント！

1年目で地域との関係づくりをし、2・3年目の活動や卒業後の定着に向けて応援される存在になれるように。協力隊・私生活ともに地域に馴染むことを一番の目標として、焦らずに協力隊活動に取り組むことが大切です。地域から受け入れてもらえたら、今後の活動もスムーズになります。声をかけてもらったなら積極的に集会や行事に参加をするようにしましょう！

2

年目

に何をすればいいのかHow & To

## 『自分のやりたいことに挑戦 & 地域への愛着を育てよう！』



### ○ 自分のスキル(得意)を伝える & 新たなスキルを伸ばす

- 着任して関係性が築けてきたら、やりたいこと・できることを伝えましょう。
- また、地域・行政から活動の依頼を受けることがあります。  
卒業後の活動も意識しつつ、スキルを伸ばすために挑戦してみましょう！



### ○ 卒業後のキャリアについて相談をする

- 2年目が終わることには協力隊も折り返し、自分の進路を意識しだすタイミング。
- 卒業後の仕事や地域との関わり方など、3年目の活動の方針を決めましょう。  
町役場・NPO法人がいろんな角度から相談に応じてくれます。

### ○ここがポイント！

協力隊として依頼される活動と、自分で取り組みたい活動のバランスが重要です。また、地域への愛着を育てる活動は協力隊の活動だけではありません。地域の方と農作業をしたり、新年会などの集会に参加して親睦を深めるなど、私生活の中でも久米南町を好きになる機会はたくさんあります。

3

年目

に何をすればいいのかHow & To

## 『地域の資源を活かしながら定着につながることをしよう！』



### ○ 自分の定着・活動の方針を決める

- 任期終了後の仕事はどうするのか(起業/就農/就職)、様々な選択肢があります。着任地の資源を活かした仕事になると地域の人も喜んでくれるでしょう。



### ○ 卒業後の定着・活動につながる取り組みをする

- 3年目は、卒業後の暮らしと仕事を想定しながら、地域との関係性も維持しつつ、集大成の年として取り組みましょう。

## ○ここがポイント！

3年目は卒業後の定着・活動に向けて取り組む年です。2年間の活動を振り返ったうえで、自分ができるようになったこと・今後の取り組みを整理して方針を決めましょう。また、地域おこし協力隊の活動のみが卒業後の活動になるとは限りません。久米南町で、どのようなワークライフバランスを取りながら定着をするかを具体的にイメージすることが大切です。

# 協力隊の活動ヒストリー

実際に、IT活用部門で活動した  
協力隊員の活動がどのようなものか紹介します。

地域の資源を活かしながら、  
定着につながることに取り組む

- ・ 継続して依頼があった  
小・中学校での授業支援に取り組む
- ・ 卒業後を見込んだ仕事  
(エンジニアリング)に挑戦する

## 3年目

## 2年目

自分のスキル・やりたいことに挑戦  
自分で地域への愛着を育てる

- ・ 居住している地域内で農業をはじめ  
地域の方と同じ目線で同じことをして、愛着を育てた

## 1年目

地域内の人々に自分のことを認知してもらう

- ・ 『常駐デジタル相談室』をオープンし、  
地域の方の悩みを解決しながら接点づくりをした

# 具体的な活動内容

## ●常駐デジタル相談室

○ 目的 → 地域内での役割を確立・自身の認知度を向上させるため

着任初年度の6月からスマホ・パソコンを中心とした『常駐デジタル相談室』を町内で週2回開催。卒業時まで500件以上のお困りごとを解決しました。相談室の日常会話や相談が、地域内での新たな取り組みにつながったり、農業の情報交換などの場といった役割も担っていました。1年目の「自分の顔を売る」という目標を達成し、色んな方とつながることができました。



## ●小・中学校のデジタル活用プロジェクト

○ 目的 → 学校現場からの継続的なニーズに応えるため

町内の小・中学校の『地域学習』にも携わり、3年間を通じて授業を担当・サポートを行いました。中学生とデジタルスタンプラリーの実施や動画編集、小学生との音声ガイドの作成や久米南町のPRポスターなど、子どもたちのやりたいことをカタチにする活動に取り組みました。



←小学校での授業の様子



顔出しパネルお披露目会 →

## ●地域住民とのデジタルツールの活用

○ 目的 → 自身の新たなスキルの開拓をするため


地域の方からドローンでの空撮や商用デザインなどを用いた作成などの、デジタルスキルの習得だととらえて取り組みました。前職はプログラマだったためデザインなどの業務は未経験でしたが、自身の新たな経験につなげるためにも挑戦。結果、様々な商用デザインの依頼をいただき、地域紹介・移住関係のパンフレットなどを任期中に作成しました。



ドローンでの空撮


＼3年間の活動の振り返りで感じた成長／

## 地域おこし協力隊の活動を通しての3つの成長



**地域住民**

としての成長



**社会人**

としての成長



**人間**

としての成長

## 地域住民

としての成長

誰かと『協働する』ということ

地域・行政など、多くの関係者がいる中で調整をして企画を進める

例：地域団体×大学間の連携、農業の担い手冊子の編集・発行

『得た』こと

自らも中心となって、地域の当事者として動く

## 社会人

としての成長

小・中学校の授業やデジタル相談室で『伝える』ということ

相手のレベルや意図を汲み取って、言葉を選んで説明する

例：小学5年生の知識、集中力、興味・関心に合わせた授業づくり

『得た』こと

協力隊の活動を通じて、自分のスキルや知識を伝え、  
理解をしてもらうようなコミュニケーションを身につけた

## 人間

としての成長

新たなことに『挑戦する』こと

地域の人たちと同じ目線で、同じ『農業』を始めたこと

『得た』こと

健康的な活動・地域の人に受け入れられている実感が湧き、  
協力隊の活動・卒業後の任期についてポジティブに考えるようになった

協力隊活動と地域内  
を通じての小さな成長



久米南町への愛着  
自身のスキルアップに



久米南町の地域おこし協力隊は、小さな町だからこそ  
地域とあなたとの距離が近く  
地域とあなたの成長が実感できる町です

地域とともに成長したいと思うあなたを  
心からお待ちしています

